

# 令和5年度 西宮市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員:2名

令和3年度から“認知症つながり推進員”の通称で活動中

2 認知症地域支援推進員の役割

(1) 認知症の正しい理解と支援方法等に関する周知・啓発を推進する

- ・認知症サポートべんり帳（認知症ケアパス）、認知症チェックシートの普及・啓発
- ・キャラバン・メイト養成・育成支援、認知症サポーターステップアップ講座支援
- ・認知症早期発見・対応啓発講座の開催

・あったか見守り声かけ講座の開催及び開催支援

(2) 認知症の人を支援する関係者との連携

- ・包括、医療機関、家族会、社会福祉協議会などとの連携
- ・認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チームとの情報交換・ケースの共有（認知症連携推進会議）

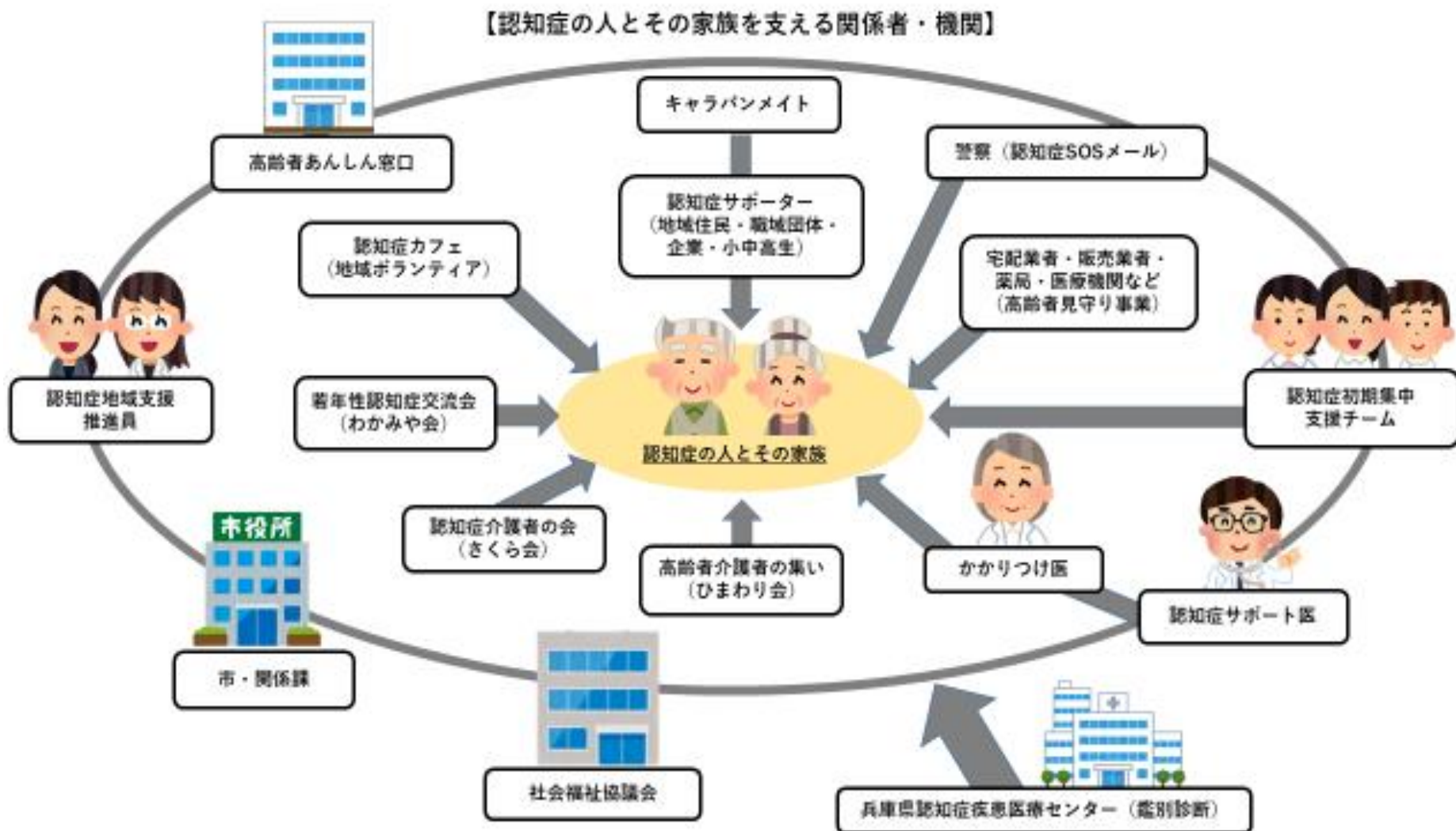
(3) 認知症の人や介護者を支える体制の充実

- ・認知症研修会、事例検討会の開催
- ・認知症カフェの立ち上げ・継続支援
- ・若年性認知症交流会『わかみや会』の運営支援及び若年性認知症の人と家族への個別支援

報告者氏名：地域共生推進課 西本麻依子

認知症地域支援推進員 後藤香織・齋藤環

# 西宮市 認知症施策全体図



## ⑦その他 西宮市における認知症の人にやさしい地域づくりに関する独自の取組 標題 『あったか見守り声かけ講座』から始める第一歩



西宮市では平成28年3月から東山台地区で毎年「道に迷ってそうな人」「困ってそうな人」に声をかけ、つなぐ訓練を街ぐるみで行っていた。

しかし

...

- コロナ禍で大勢が集まるイベントができなくなった!
- コロナ後再開したいが、地域で主導していたメンバーも変わってしまったし、街ぐるみの訓練は大掛かりで大変!
- 認知症サポーター養成講座をしたら「実際に声をかけるにはハードルが高い」との声もある!
- 他地域からも「地域での声かけが大事」「声かけを学ぶ機会が必要」との声が上がり、声かけ練習を実施していた!
- 東山台地区以外の人たちにも、もっと身近に!もっと気軽に!!声をかける練習ができないかな?



令和4年度から市と推進員とであったか見守り声かけ講座を開催!

# 講座の内容で工夫したことは…

前半はロールプレイ  
で実際に声かけを  
行ってみる！



- ロールプレイでは顔見知りの人バージョンと見知らぬ人バージョンの2パターン
- 実際に街の中で遭遇しそうなシチュエーションを想定
- 言葉がけだけでなく、表情や姿勢、身体の向きなども考えてもらえるように座ったままではなく、会場を広く使って練習
- 認知症役もやってみて、認知症の人の感じ方も体験してもらう
- ヘルプカードやデイサービス連絡帳など、小道具を持っていてヒントを引き出してみることも

- 声をかける時は①まずは様子を確認、  
②ちょっと気になるな、と思ったら声をかけてみる、  
③道に迷っている人だったら…どうするかを考える、  
を具体例を交えて解説
- 声をかけた相手が心配ない人だった場合でも、明るい挨拶を交わすなど、認知症の有無によらない声かけを伝える

後半は座学で声かけ  
のポイントを学ぶ！



認知症であるかどうかを見極めるのが重要ではなく、  
気になった人に声をかけることが大切だと伝える！

# 講座を広げるために…

【講座の目標】:声かけする人を増やす⇒自力開催できる主催者を増やす

令和4年度  
主催者になってもらえ  
そうなところにアピール

【開催に当たっての工夫】

- ・ **イメージを掴んでもらいたい**  
市・推進員が主催し、年4回、市役所で開催
- ・ **開催のハードルを下げたい**  
開催手順書や講座で使う資料を作成
- ・ **見学・体験・参加者を増やしたい**  
地域(つどい場、認知症カフェ、共生型地域拠点、公民館等)への広報、包括・社協など  
様々な専門職に見学の声かけ

見学&参加(実感)が、  
地域への広がり  
のきっかけとなる

令和5年度  
地域とコラボしての開催へ

- ・ 地域主催2回、市・推進員主催2回の年4回開催
- ・ 推進員も関わることで、**主催者の不安感を軽減**
- ・ 最終的には、主催者が自力開催できるのが目標



# 講座の様子

ロールプレイ中



近所の〇〇ですって名のつたら、安心されるかな。



振り返り中

声かけ役：情報を引き出そうと必死だったわ。  
認知症役：ちょっと引いてしまった。



座学受講中



# 参加者からの声は…

自分が気になった  
人に声をかけよう。

気づき、声かけ(やさ  
しく、やわらかく)の  
大切さがわかった。

まずは近所から  
のあいさつと  
日々の声かけが  
必要だと実感。

声かけ一つにしても  
思い付きではなく、  
余裕を持つことが一  
番大事。

ロールプレイでたくさ  
んの気づきがありま  
した。

他のペアの方の感  
想も大変参考に  
なった。

ペアの方に自分が  
思いつかないような  
やり取りをしていた  
だき、勉強になった。



# 今後の課題

- いろいろな人に講座を知ってもらうための広報に力を入れていきたい。
- 講座にバリエーションをつけて主催者のニーズに合った形で開催していきたい。
- 主催者が自力で開催するまでにはまだまだハードルが高い。  
→認知症サポーター養成講座の続きなどで行えるように、キャラバン・メイトの協力を求めている。

## 最後に・・・

「あったか見守り声かけ講座」は認知症の人の行方不明を防ぐためだけのものではありません。認知症の人を見極めるのが重要なのではなく、「困ってそうな人」「気になった人」に声をかけるという、当たり前前の行動が大切であり、それができる人が増えることが「認知症であってもなくても共に生きる地域」につながっていきます。誰もが暮らしやすい地域を一緒に、根気強く作っていきましょう！

西宮市公式YouTubeでは  
あったか見守り声かけ講座の動画を配信中！

